

## 議事録

会議名	金属・セラミックス技術委員会 (H16年度第3回)	主催者 電気学会
日時	平成16年12月14日(火)	場所 古河電工 本社
出席者	田中(ISTEC)、石渡(東芝)、飯田(日立)、吉川(横国大)、三村(古河)	
<p><b>【概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営委員会(11/9)の報告</li> <li>・ 全国大会(3/17-3/19)のシンポジウムで「ダイヤモンドの進展」を企画</li> <li>・ A部門大会のテーマセッションは「先端電気電子材料」をキーワードに検討</li> <li>・ 本委員会の中期ビジョンについて議論(3月までに取りまとめ)</li> <li>・ 次回は3月中旬</li> </ul>		

### 【議事】

#### (1) 運営委員会(11/9)報告

- ・ 金セラ技術委員会の委員交代/秋田-1号委員に、熊倉-2号委員に変更
- ・ 木皿儀委員からの辞退の希望に関しては、代理の方の紹介をお願いします。
- ・ 電気学会の事務局のA部門担当が油原さんから岡山さんへ(育児休暇から復帰)
- ・ A部門の活動資金として、本委員会からは未だ申請していない。
- ・ 研究会の活動フォローとして、調査専門委員会の新設(4回/年)、A部門大会、全国大会などを報告した。
- ・ A部門大会のテーマセッションを1/15までに提案する(内容は後で議論)。
- ・ 本委員会として今年は優秀論文発表の対象はなし。
- ・ 本委員会の中期ビジョンを作成する(内容は後で議論)。

#### (2) 全国大会 シンポジウム

- ・ H17,3/17-3/19(本シンポジウムは3/18か?)、徳島大学
- ・ テーマ名は「進展目覚ましいダイヤモンド電子・電気機能材料」で以下の講演を予定
- ・ ダイヤモンドの物性(川原、早稲田)
- ・ ダイヤモンド超電導体の現状と展望(高野、NIMS)
- ・ 人工ダイヤモンドの作製技術について(川村、東京ガス)
- ・ ダイヤモンドの電子デバイス用基板と電子放出技術(今井、住友)
- ・ ダイヤモンドマイクロ波帯パワーデバイスの現状と展望(嘉数、NTT)

#### (3) 中期ビジョン

- ・石渡委員、樽谷委員、飯田委員から、事前アンケートの回答について説明頂き、以下の項目について議論した。

#### 1) 活動方針の趣意

- ・学会内外への情報発信、新規材料の理解、技術動向の見定め、電気学会の発展に貢献・
- ・田中委員長案をベースとする

#### 2) 活動の目的

- ・電気材料技術の発展に寄与、新規材料の継続的調査、ナノテク技術の把握、材料から応用への橋渡し・
- ・印象を強めた表現を検討する

#### 3) 予想される効果

- ・材料と応用技術の発展、新規材料の応用可能性の拡大、開発指針、電気学会への関心・
- ・田中委員長案をベースとする

#### 4) 活動分野

- ・新しい分野（エネルギー、情報）を先取りした材料としたい
- ・エネルギーなら、パワーデバイスで SiC、ダイヤモンド、エネルギー変換材料など
- ・情報なら、高速素子、センサー、アクティエ이터、HTSC なら SFQ、CNT など
- ・議論の結果、以下の 5 領域を活動分野として提案する方向で調整する（3 月までに）。
  - 超電導のエネルギー応用、デバイス応用
  - 耐熱高周波のパワーデバイス（SiC,ダイヤモンドなど）
  - 新規機能材料（カーボナノチューブなど）
  - エネルギー変換材料（太陽電池など）
  - 高性能導電材料

#### 5) 具体的活動

- ・田中委員長案をベースとする
- ・今後、～ の活動領域の具体的な進め方を検討する。
- ・他の分野を取り込む、適任者を紹介してもらうなどの活動を行う。

#### (4) H17 の A 部門大会のテーマセッション

- ・H17 の A 部門大会は「先端電気電子材料」をキーワードに、超電導以外に半導体、新規機能性材料をイメージする
- ・1/15 を目処に提案する

#### (4) その他

- ・次回の本委員会は 3 月中旬の予定

以上